

秋田市工業団地協同組合(伊藤和宏理事長)は、昭和36年に制定された国の近代化法に基づき昭和37年に「秋田市金属工業団地協同組合」として設立され、昭和39年には「中小企業近代化資金助成法」が施行され、秋田県が造成した現在地が助成団地の指定を受けたことにより集団移転を開始し、昭和43年にはほぼ集団化が終わり、組合員企業31社の操業が開始されました。これにより、都市計画の制約や土地の狭隘、地価の高騰、騒音・塵埃などの諸問題が解決され、その後、新規組合員の加入もあり、業種構成が多岐にわたったことから昭和62年、現在の名称に改称し、組合員28社で今日に至っております。

理事長企業である株式会社イトー鑄造は、上下水道用異形管メーカーとして業界有数の生産能力をもち、自社ブランドで北海道から九州まで全国を販売エリアとして製造・販売をおこなっています。

最新の水道用耐震形ダクティル異形管(GX形)は従来の離脱防止性能の他に外面の塗装は腐食を防ぐための金属溶射の仕様になっており、非常時のライフラインの確保とともに長期間の防食性能を発揮し、全国の主な水道事業体で採用が拡大しています。

また、異形管の他には自動車部品や鉄道部品、建築部品、半導体関連部品、ロボット部品や産業機械部品など多岐にわたり生産しています。



〔上下水道ダクティル鑄鉄異形管ほか〕

品質においては、2000年2月にISO9002を認証取得し、さらに2003年2月にはISO9001(2000年版)に更新し、信頼のおける高水準な品質システムのもと生産された製品を全国に供給しています。

また、当社の製品は、回収、再資源化が非常に容易な環境に優しい鑄鉄製品です。



〔本社工場〕

明治21年創業以来、「鑄物づくりとはなにか」を絶えず見つめ続けており、大きく移り変わる現代社会にあって、つくるもの、あるいはつくる方法は変わっても「より良いものを、より早く、より安く」を永遠のテーマに掲げ、常にチャレンジ精神をもって、課題に取り組んでいます。蓄積した経験・技術を21世紀の鑄物づくりに反映させ、社会の発展のために、さらなる飛躍をめざしています。

そのため、高度な鑄造品製造技術には一層の磨きをかけていきたいものだと思っています。



〔伊藤理事長〕